

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者安心計画作成・推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3464)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,483 千円 (前年度予算額： 557 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	557	557	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,483	1,483	0	0	0	0	0	0	0
決定額	1,483	1,483	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和5年度に策定した「第9期岐阜県高齢者安心計画」(計画期間：令和6～8年度)の各年度において、その進捗状況や課題等を点検し、対応策を講じるとともに、市町村老人福祉計画や介護保険事業計画、認知症施策推進計画の推進に必要な支援・調整等を行うことにより、高齢者福祉に関する各種政策の実施及び介護保険制度の円滑な運営を図る。

併せて、令和8年度には、「第10期岐阜県高齢者安心計画」(計画期間：令和9年～11年度)を策定する。

(2) 事業内容

・「高齢者安心計画作成・推進会議」の運営等

県内学識有識者等により構成される会議において、第9期計画の進行管理や課題の対応策等及び第10期計画の策定について意見を聴取する。

(構成員22人、年3回開催予定)

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10 保険者機能強化推進交付金

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	693	会議構成員報償費
旅費	360	会議構成員費用弁償、職員業務旅費
需用費	231	消耗品費（用紙、コピー代）、会議費（会議お茶代）、印刷製本費
役務費	100	電話代、郵送代
使用料	99	会議室使用料
合計	1,483	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

老人福祉法、介護保険法及び共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づき、3年毎に都道府県で策定。また、その事業進捗・管理を行う。

(2) 国・他県の状況

全都道府県で同様の計画を策定。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高齢者福祉に関する各種政策や認知症の人や家族等への支援の実施及び介護保険制度の円滑な運営を推進するため、令和5年度に策定した「第9期岐阜県高齢者安心計画」の進捗管理並びに施策の推進に取り組むとともに、「第10期岐阜県高齢者安心計画」を策定する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

「第9期岐阜県高齢者安心計画」の進捗管理並びに施策の推進に取り組むことが目的であり、「第10期岐阜県高齢者安心計画」については策定が目的であるため、定量的な指標の設定は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	高齢者安心計画作成・推進会議 令和5年2月開催
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	高齢者安心計画作成・推進会議 令和5年6月、11月、令和6年2月開催
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	高齢者安心計画作成・推進会議 令和7年2月書面開催（天候不順）
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	介護保険法、老人福祉法及び共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づいた計画の進捗管理であり、高齢者施策の推進のため必要な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	計画の進捗管理を実施するほか課題の把握、対応策を議論し講じるうえで必要な会議であり、県内の高齢者施策を推進するうえで有効である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	外部の有識者を構成員とすることで、公平・中立な評価や意見交換が可能な体制を確保している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 計画の基本理念、3つの目的を柱として、その達成に向けた9つの施策の方向性に沿って、更なる取り組みが必要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、計画の進捗管理を実施するほか、課題の把握、対応策を議論し、県の施策の推進を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】